

【北上市】
ネットワーク整備計画

1 必要なネットワーク速度が確保できている学校数、総学校数に占める割合

「校内通信ネットワーク環境整備等に関する調査」（文部科学省・令和5年11月実施）の結果では、「学校規模ごとの当面の推奨帯域」（文部科学省・令和6年4月）を超える本市の学校数は23校であり、総学校数23校に占める割合は100%であった。

しかし、GIGA第2期で令和8年2月までに改めてネットワークアセスメントを実施した結果、必要なネットワーク速度を確保できている学校が15校となり、総学校数23校に占める割合が約65%（8校が必要なネットワーク速度を確保できていない状況。うち1校は令和8年3月末に閉校。）となっている。

2 必要なネットワーク速度の確保に向けたスケジュール

(1) ネットワークアセスメントによる課題特定

本市では、モバイルデータ（LTE）通信のみで接続しており、GIGA第1期にはLTE構築業者によるアセスメントを実施し、推奨帯域の達成状況が100%であることを確認した。

GIGA第2期では、令和8年2月までに改めてネットワークアセスメントを実施し、課題のある学校についての課題の特定を完了させた。

【課題のある学校】

黒沢尻東小、飯豊小、和賀東小、いわさき小、東桜小、北上中、北上北中、東陵中

(2) ネットワークアセスメントを踏まえた改善スケジュール

ネットワークアセスメントの結果を踏まえ、必要なネットワーク速度を確保できていない学校に対し、普通教室・特別教室・体育館等へのレピータの設置または無線アクセスポイント（Wi-Fi）の設置により、令和10年9月までに対象校における改善策を完了させる。また、モバイル通信サービス提供者側への基地局増設等の改善要望を継続していく。

(3) 校務系と学習系ネットワークの統合

現在は、校務系ネットワークが固定回線（有線接続）であり、学習系ネットワークがモバイル回線となっており、分離型ネットワークで運用している。今後、校務系・学習系データの連携強化、教職員の端末2台持ちの解消、汎用クラウドツールの活用等を図るため、国の教育DXロードマップに基づき令和11年度までに、市立小中学校のネットワーク統合を進める。

▼改訂履歴

改訂No.	改訂日	改訂内容
Ver1.0	令和7年3月31日	初版作成
Ver2.0	令和8年2月18日	必要なネットワーク速度の確保に向けたスケジュールを変更
Ver3.0	令和8年9月28日	■直近のネットワークアセスメント結果を反映させ 改善計画を変更 ■校務系・学習系ネットワーク統合について明確化